

第**124**期

株主通信

2024年4月1日～2025年3月31日



富士急行株式会社

証券コード：9010



富士ミネラルウォーター

創業100周年へ向け、2024年9月にシンボルマークを刷新

富士山には、人の心をわくわくさせる力があります。
はっと目を奪われた一瞬にわき上がる
おどろき、うれしさ、すがすがしさ、安心感に、
私たちは大きく心を動かされます。

そんな感動や喜びを世界の人に伝えたい。
1926年の創業以来、私たちは
「富士を世界に拓く」という想いを胸にいだき、
鉄道、別荘地、ホテル、ゴルフ場、アミューズメント施設など、
さまざまな事業を展開してきました。

ずっと大切にしてきたのは、開発というより自然との調和。
この美しい風景や豊かな自然を
世界に伝えたいと強く願うからこそです。
まだ溶岩がむきだしだった富士山麓周辺の土地に
土をまき、木を植え、自然を育むことからはじめ、
多くの人を招くことを夢みた創業時のころと、変わりはありません。

これからも自然を守り育てながら、どれだけお客さまの期待を
大きく超える感動体験をお届けすることができるか。
めざすのは、私たちらしい視点や独自の発想でしか生み出せない
唯一無二の「わくわく」。
富士急グループは一新したシンボルマークのもと
一丸となってチャレンジしていきます。



わくわくの最高峰へ

CONTENTS

■ ごあいさつ	1	■ 連結財務諸表	10
■ FUJI-Q TOPICS (Year In Review)	2	■ 会社概況／株式情報	11
■ Fuji-Q News	4	■ 株主優待のご案内	12
■ 事業別概況 (連結)	8		



株主の皆様には、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第124期におけるわが国経済は、緊迫する海外情勢の長期化や自然災害等による原材料・エネルギー価格の高止まり、物価の上昇などの影響を受けたものの、外国人旅行者による国内消費の大幅な増加のほか、雇用・所得環境の安定を背景に個人消費は堅調に推移し、緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況のなか、当社グループは、運輸、不動産、レジャー・サービス、その他の各事業において、積極的な営業活動と経営の効率化に努めてまいりました。

以上の結果、当連結会計年度における営業収益は522億30百万円、営業利益は83億13百千円、経常利益は81億25百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は51億7百万円となりました。

当期における各事業の具体的な取り組みは、8ページ以降に記載しておりますので、ご高覧くださいますようお願い申し上げます。

当社グループを取り巻く経営環境は、地政学的リスクの高まりによる外国人旅行者の動向、異常気象や継続的な物価上昇による影響など、先行き不透明な状況が続くものと考えられます。このような状況のなか、第六次中期経営計画の最終年度となる2025年度

においては、お客様の多様化するニーズや新たな価値観に應えるため、「超日常」体験の提供や更なるDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進により、「顧客生涯価値」の最大化を目指してまいります。

運輸事業につきましては、鉄道事業において、国内外からの観光需要の増加に対応するため、臨時列車の増発などにより、輸送力の更なる強化に取り組んでまいります。バス事業では、自動運転EVバスの公道実証実験を継続し、自動運転レベル4での運行を目指した取り組みを行うとともに、EVバスの増車による環境負荷低減にも、引き続き取り組んでまいります。

不動産事業につきましては、山中湖旭日丘エリアの再開発を進めるとともに、別荘オーナーへの利便性向上に取り組んでまいります。不動産賃貸事業では、遊休地の活用により収益の最大化を図ってまいります。

レジャー・サービス事業につきましては、「富士急ハイランド」において、園内にスケートボードパークを新設し、新たな需要の創出を図るとともに、人気キャラクターなど様々なコンテンツとのコラボレーションを通じ、話題の醸成を図ってまいります。

サステナビリティへの取り組みにつきましては、当社グループにおける重要課題（マテリアリティ）の達成に向けた取り組みを展開し、富士山エリアを「リゾートシティ」とする持続可能な地域社会の実現を目指してまいります。人材に関する取り組みにつきましては、人事制度の見直しや教育プログラムの拡充のほか、オフィスや社員寮の改修など様々な施策を講じ、すべての従業員がわくわく感と夢をもってチャレンジできる働きやすい環境づくりを推進してまいります。

当社グループは、「富士を世界に拓く」という創業精神のもと、オリジナリティの高い「喜び・感動」を創造することを目指しております。また、創立100周年（2026年9月）を迎えるにあたり、次の100年へのスタートを切るため、刷新したグループロゴとタグライン「わくわくの最高峰へ」を旗印として「夢・喜び・やすらぎ・快適・感動・健やかさ」を新たなステージで提供し、世界の人々の心の豊かさにご貢献することを目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2025年6月
代表取締役社長 堀内 光一郎

Year In Review

FUJI-Q TOPICS

遊園地「ぐりんぱ」

4月 開園20周年を記念し、
シルバニアビレッジ 風の丘のブランコ
「わんだフル グリーンパーク」をオープン



4月

5月

6月

7月

8月

9月

7月

富士急ハイランド

開業60周年記念プロジェクト



さがみ湖MORI MORI

さがみ湖MORI MORIに名称変更



富士急ハイランド

「戦慄迷宮」リニューアルオープン



当期のトピックス紹介

スノーパーク イエティ

10月 26年連続で
日本一早くオープン



さがみ湖MORI MORI

11月 「さがみ湖イルミリオン」開幕



「箱根遊船 SORAKAZE」

「2024年度
グッドデザイン賞」受賞



10月

11月

12月

1月

2月

3月

ホテルマウント富士

12月 サウナ「富嶽蒸景(ふがくじょうけい)」
オープン



富士ミネラルウォーター

1月 「アルミボトル缶」販売開始



2月 自動運転EVバス
実証実験を実施



プラスチックごみの削減に貢献する環境配慮型新商品 富士ミネラルウォーター「アルミボトル缶」発売開始



富士ミネラルウォーター株式会社は、プラスチックごみの削減に貢献する「アルミボトル缶容器」のナチュラルミネラルウォーターを2025年1月29日（水）より発売開始しました。

1929年に創業し、炭酸を含まない日本初のミネラルウォーターとして95年にわたり歩みを重ねてきた富士ミネラルウォーターでは、業務用びん商品へのリターナブルびん使用の徹底を皮切りに、ペットボトルに比べプラスチック使用量を約75%削減した「紙パック」商品を発売するなど、自然環境に配慮した取り組みをいち早く推進してきました。

アルミ缶のリサイクル率は97.5%、また、水平リサイクル率（缶から缶）は73.8%（※）と、繰り返し再生できる環境にやさしい循環型素材として知られており、今回新たに「アルミボトル缶」商品を発売することでプラスチックごみの削減、サステナブル社会の実現、持続可能な開発目標（SDGs）の達成により一層貢献していきたいと考えております。

（※）出典：アルミ缶リサイクル協会 2023年度データより

富士ミネラルウォーターでは今後も環境問題に真摯に向き合い、新たな提案ができるように取り組んでまいります。

商品概要

1. 商品名：富士ミネラルウォーター
490mlアルミボトル缶
2. 名称・採水地：ナチュラルミネラル
ウォーター
（採水地 山梨県富士吉田市）
3. 内容量・入数：490ml／24本入り
（ケース）
4. 賞味期限：製造日より3年
5. 発売日：2025年1月29日（水）
6. 希望小売価格：オープン価格



ビジュアル・アイデンティティのリニューアルについて

富士ミネラルウォーターは1929年に創業し、炭酸を含まないミネラルウォーターを日本で初めて製造、販売したミネラルウォーターのパイオニアです。この95年の歴史を振り返り、そして次の50年、100年へとつなげていくために、ビジュアル・アイデンティティのリニューアルを進めています。その第一弾として今回の「アルミボトル缶」では「FUJI MINERAL WATER」のブランドロゴをリニューアルしました。このブランドロゴを今後各種商品や販促物等に使用してまいります。

FUJI
MINERAL WATER



富士ミネラルウォーター
WEBサイト

～持続可能なまちづくり・富士山のオーバーツーリズム対策と脱炭素化へ～ 市街地公道(富士みち)における自動運転EVバス 実証実験を実施



自動運転EVバス公式サイト



山梨県富士吉田市、富士急行株式会社、富士急バス株式会社、BOLDLY株式会社は、持続可能な地域公共交通の実現を目指し、自動運転EVバス運行の実証実験（以下「本実証」）を実施しました。

2024年11月には富士山の麓から五合目を結ぶ自動車道「富士スバルライン」ルートにて実証を行い、富士吉田市内の公道「富士みち」を中心とした市内を循環するルートにおける実証運行を2025年1月に行いました。

本実証は、国土交通省の「地域公共交通確保維持改善事業補助金（自動運転社会実装推進事業）」の採択を受け、少子高齢化や運転士不足、訪日外国人観光客の急増等地域公共交通に関わる様々な課題の解決に加え、富士山のオーバーツーリズム対策や脱炭素化といった持続的な富士山の環境保全を図ることを目的に、自動運転レベル4を見据えた取り組みとして実施しました。

自動運転システムと遠隔監視システムを搭載した新型の自動運転EVバスを導入し、遠隔監視員及び乗務員を配置して自動運転レベル2で運行することで、自動運転EVバスの運行に関わる経営面や技術面、社会受容性を検証しました。

芦ノ湖遊覧船

2025年3月1日より湖尻航路の運航再開

箱根遊船株式会社では、2025年3月1日より湖尻航路の運航を再開しました。箱根関所跡港、元箱根港、箱根園港、湖尻港をすべて周ると1周70分ほどとなります。湖尻港からは箱根ロープウェイのある桃源台まで徒歩10分ほどで行くことができ、大自然が広がる芦ノ湖周辺をより便利にお楽しみいただけるようになりました。

● 湖尻航路営業期間

2025年3月1日（土）～

※天候、貸切運航、その他事由により運航状況が変更になる場合があります。

事前に運航情報をご確認のうえお越しください。

● 運賃

湖尻港～箱根園港 片道 大人1,000円、小人500円

湖尻港～関所跡港・元箱根港 片道 大人1,200円、小人600円



箱根遊船
WEBサイト



「さがみ湖MORI MORI」にて太陽光発電開始



富士急行株式会社では、2024年8月に「さがみ湖MORI MORI」の敷地内に太陽光発電設備を設置し、11月より、この太陽光発電設備を活用した社内PPA※を開始しました。この取り組みにより富士急行株式会社の東京本社（東京都渋谷区）で使用する電力の100%、グループのバス会社である株式会社フジエクスプレス江戸川営業所（東京都江戸川区）で使用する電力の約80%がCO₂フリーとなる見込みです。見込まれるCO₂削減量は約220t/年となり、杉の木25,000本が1年間に吸収する量と同等となります。また、「さがみ湖MORI MORI」の敷地内に設置する太陽光パネルはすべて既存建物の屋根に設置するため、相模湖エリアの自然へ対しての負荷はありません。富士急グループは、これからも環境にも人にも優しい事業展開を積極的に進めてまいります。

※PPA（Power Purchase Agreement）とは、「電力購入契約」や「電力販売契約」と表され、再生エネルギー発電設備の所有者と、発電された電力の利用者との間で取り交わされる契約を意味します。広義にはそういった仕組みそのものを表し、本件ではグループ内の事業所で発電した電力を、別の事業所（グループ内）で利用する仕組みのことを示しております。



さがみ湖MORI MORI
WEBサイト

事業別概況（連結）

運輸事業

鉄道事業につきましては、外国人旅行者をはじめとする観光需要の増加を受け、ＪＲ中央線直通特急「富士回遊」の運行本数の増便や人気観光スポットの最寄り駅である下吉田駅と河口湖駅を結ぶ臨時列車を運行するなど、利便性向上と輸送力強化に努めました。また、都留文科大学前駅の開業20周年を記念したセレモニーや引退する車両の記念イベントなど多様なイベントを開催し、話題の醸成を図りました。

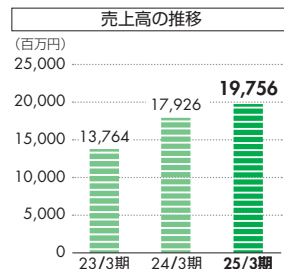
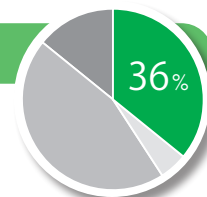
バス事業につきましては、高速バス営業において、外国人旅行者の増加に合わせ、都内と富士五湖を結ぶ路線のほか、関西・中京圏へのアクセス向上を目的とした河口湖駅と東海道新幹線三島駅を結ぶ路線の運行台数を増加し、利便性向上に努めました。乗合バス営業では、サステナビリティの取り組みとして、電気バス（EVバス）の導入を更に拡大したほか、前年度に引き続き、運転士不足やオーバーツーリズム対策、脱炭素化などの中長期的な課題解決を目的に富士吉田市と共同で市内の公道を循環するルートと、新たに富士山の麓と五合目を結ぶ「富士スパルライン」の一部を走行する2つのルートで自動運転EVバスの実証実験を行いました。

索道事業につきましては、「～河口湖～富士山パノラマロープウェイ」において、オペレーションの効率化とお客様の利便性向上を目的に、駅舎のリニューアルを行い、多くのお客様にご利用いただきました。

船舶事業につきましては、箱根芦ノ湖遊覧船事業において、「湖尻ターミナル」までの運航を再開し、新たな魅力付けと利便性向上を図りました。また、「箱根遊船 SORAKAZE」は、デザインやエンターテインメント性の高さを評価され、「グッドデザイン賞」を受賞するなど好評を博しました。

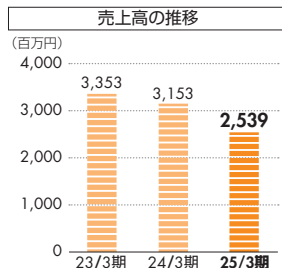
安全対策につきましては、「運輸安全マネジメント」の安全目標、重点施策に基づき、安全会議や集合研修を通じ、安全意識の更なる向上に努めるとともに、新たな安全対策装置や設備の導入を推進しました。また、鉄道・バス・船舶において、地域の消防署や警察署などと連携し、自然災害や緊急時を想定した合同訓練を行いました。

以上の結果、運輸事業の営業収益は19,756,056千円（対前期110.2%）、営業利益は4,697,563千円（対前期124.8%）となりました。



箱根遊船 SORAKAZE

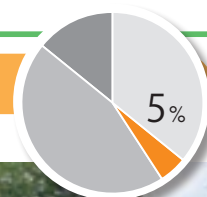
不動産事業



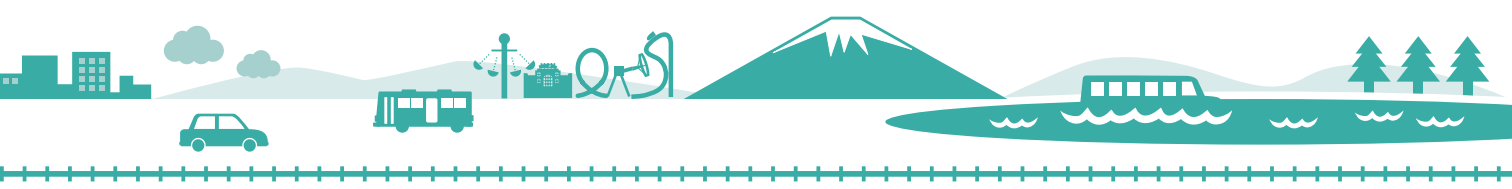
不動産販売事業につきましては、山中湖畔別荘地において、高級街区のプライベート性を重視した新規プロジェクト開発を計画していました。しかしながら、山梨県より、別荘取得希望者への土地の転貸承認申請に対して、従前とは異なる対応をされたことにより、承認が得られない状態が継続しているため、別荘地の販売・仲介などの取引を一時的に停止せざるを得ない状況となり、別荘地の販売区画数は減少しました。

不動産賃貸事業につきましては、既存賃貸施設の改修などを行い、安定的な収益の確保に努めました。

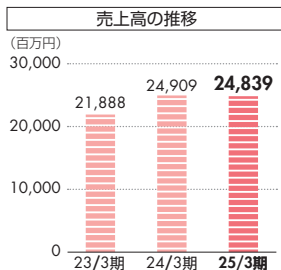
以上の結果、不動産事業の営業収益は2,539,472千円（対前期80.5%）、営業利益は469,958千円（対前期62.2%）となりました。



山中湖畔別荘地



レジャー・サービス事業

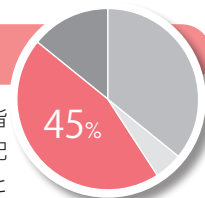


さがみ湖MORI MORI

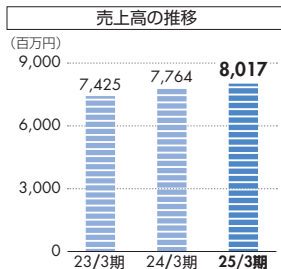
遊園地事業につきましては、「富士急ハイランド」において、お客様や地域の皆様に感謝の気持ちを込めた「ドローン&花火ショー」の開催など「富士急60th記念プロジェクト」を実施するとともに、富士吉田市と共同でふるさと納税寄附者と市民との交流イベントを開催し、好評を博しました。また、「トーマスランド」でアトラクションやレストランを日本初のNewルックデザインに変更したほか、「NARUTO×BORUTO 富士 木ノ葉隠れの里」で開業5周年を記念したトークショーによる集客や、フォトスポットの拡充などエリアの魅力向上に努めました。「さがみ湖MORI MORI」は、相模湖の森の中で、より楽しめるレジャーパークへの進化を目指し、7月に「さがみ湖リゾート プレジャーフォレスト」から名称変更し、リニューアルオープンしました。リニューアルに合わせ、ドッグランフィールドの開設、新たな岩盤浴やリラクゼーションラウンジのある「ゆめうり」をオープンし、魅力向上に努めました。関東最大級のイルミネーションイベント「さがみ湖イルミリオン」では、人気キャラクター「リラックマ」や「すみっコぐらし」などの「サンエックスキャラクターズイルミネーション」を開催し、好評を博しました。スノーパーク「Yeti」では、屋外スキー場として26年連続で日本一早くオープンし、話題喚起に努めたほか、雪遊び広場では、多くの外国人旅行者にご利用いただきました。

ホテル事業につきましては、「ハイランドリゾート ホテル&スパ」において、OTA（オンライントラベルエージェント）を活用し、外国人旅行者の積極的な誘致に努めました。また、多様化するお客様のニーズに応えるため、2階フロアの客室改修を行うとともに、季節に合わせた料飲フェアや体験イベントなどを開催し、多くのお客様にご利用いただきました。「ホテルマウント富士」では、サウナ「富嶽蒸泉」を新設するとともにサウナイベントを開催し、好評を博しました。

以上の結果、レジャー・サービス事業の営業収益は24,839,040千円（対前期99.7%）、営業利益は2,584,989千円（対前期82.4%）となりました。



その他事業

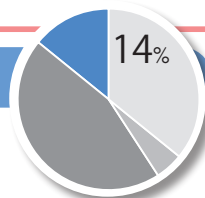


富士ミネラルウォーター

株式会社富士急百貨店では、富士吉田富士急ターミナルビル「Q-STATION」において、飲食、物品販売、音楽などの地域と連携したイベントを積極的に開催し、来館者数が大幅に増加しました。

富士ミネラルウォーター株式会社では、紙パック製品の受注が拡大したほか、新たにアルミボトル缶製品の販売を開始し、更なる環境負荷低減に努めました。また、物品販売業では、「GateWay Fujiyama河口湖駅」において、店舗のリニューアルを行い、外国人旅行者を中心に多くのお客様にご利用いただきました。

以上の結果、その他事業全体の営業収益は8,017,310千円（対前期103.3%）、営業利益は599,389千円（対前期90.2%）となりました。



連結財務諸表



連結貸借対照表 (要旨)

単位：百万円

科 目	期 別	当連結会計年度 (2025年3月31日現在)	前連結会計年度 (2024年3月31日現在)
(資産の部)			
流動資産		33,083	34,038
固定資産		68,000	66,476
繰延資産		18	22
資産合計		101,101	100,537
(負債の部)			
負債合計		64,315	68,186
(純資産の部)			
純資産合計		36,786	32,351
負債純資産合計		101,101	100,537

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

単位：百万円

科 目	期 別	当連結会計年度 (2024年4月1日から 2025年3月31日まで)	前連結会計年度 (2023年4月1日から 2024年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー		10,843	12,998
投資活動によるキャッシュ・フロー		△5,857	△5,703
財務活動によるキャッシュ・フロー		△6,123	△8,440
現金及び現金同等物の増減額		△1,137	△1,145
現金及び現金同等物の期首残高		17,840	18,985
現金及び現金同等物の期末残高		16,702	17,840

連結損益計算書 (要旨)

単位：百万円

科 目	期 別	当連結会計年度 (2024年4月1日から 2025年3月31日まで)	前連結会計年度 (2023年4月1日から 2024年3月31日まで)
営業収益		52,230	50,701
営業費		43,916	42,549
営業利益		8,313	8,151
営業外収益		319	281
営業外費用		506	496
経常利益		8,125	7,936
特別利益		814	671
特別損失		1,340	2,007
税金等調整前当期純利益		7,599	6,600
法人税、住民税及び事業税		2,172	1,892
法人税等調整額		212	21
当期純利益		5,213	4,686
非支配株主に帰属する当期純利益		105	114
親会社株主に帰属する当期純利益		5,107	4,571

会社概況／株式情報

会社概要 (2025年3月31日現在)

- 商 号 富士急行株式会社
FUJI KYUKO CO.,LTD.
- 所 在 地 本 社：山梨県富士吉田市新西原五丁目2番1号
東京本社：東京都渋谷区初台一丁目55番7号
- 設 立 大正15（1926）年9月18日
- 資 本 金 91億2,634万円
- 代 表 者 代表取締役社長 堀内 光一郎
- 主 要 事 業 鉄道事業、自動車運送事業、土地建物の売買・貸借・媒介その他各種不動産事業、旅館業・遊園地その他各種観光事業等

役 員 (2025年3月31日現在)

代表取締役社長	堀内 光一郎	常勤監査役	廣瀬 昌訓
常務取締役 常務執行役員	野田 博喜	常勤監査役	相川 三七男
常務取締役 常務執行役員	山田 美之	監査役	数原 英一郎
取締役	佐藤 美樹	監査役	関 光良
取締役	長岡 勤	執行役員	上原 厚
取締役	大原 慶子	執行役員	天野 克宏
取締役	清水 博	執行役員	道本 晃一
取締役	米山 好映	執行役員	齊藤 隆憲
取締役	伊岐 典子	執行役員	信國 謙司
取締役 執行役員	雨宮 正雄	執行役員	松村 武明
取締役 執行役員	岩田 大昌	執行役員	渡辺 広幸
取締役 執行役員	堀内 基光		
取締役 執行役員	相生 光晴		

株式の状況 (2025年3月31日現在)

■ 発行可能株式総数	165,847,500 株
■ 発行済株式の総数	54,884,738 株
■ 株 主 数	21,765 名

株主メモ (2025年3月31日現在)

事 業 年 度	4月1日から翌年3月31日まで
定 時 株 主 総 会	毎年6月
株 主 名 簿 管 理 人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 Tel.0120-232-7111（通話料無料） 郵送先：〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上 場 金 融 商 品 取 引 所	東京証券取引所
公 告 方 法	電子公告により行う ※ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。

ご注意	
1.	株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2.	特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取り扱いいたします。
3.	未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



株主優待のご案内

株数	ご優待の内容			
	電車・バス・観光施設 共通優待券	フリーパス引換券	高速バス乗車券	電車・バス全線 優待パス
17,500 株以上	●電車全線乗車 (1枚につき片道1名乗車) ●バス全線乗車 (1枚につき片道1名乗車) ●富士急ハイランド (2枚につき乗物1回券、5枚につきフリーパス1枚と引換) ●ゆうえんちぐりんば (1枚につき1名入園、5枚につきワンデークーポン1枚と引換) ●さがみ湖MORI MORI (1枚につき1名入園、5枚につきフリーパス1枚と引換) ●忍野 しのびの里 (2枚につき1名入園) ●スノーパーク イエティ (5枚につき1日入場滑走券1枚と引換) ●あだたら高原リゾート (5枚につきリフト1日券またはロープウェイ往復券1枚と引換) ●熱海～初島航路 (3枚につき18乗船(往復)とPICA初島(アジアンガーデンR-Asia) 1名入園 ※往路は引換当日のみ有効) ●～河口湖～ 富士山パノラマロープウェイ (1枚につき1名乗車(往復)) ●河口湖遊覧船・山中湖遊覧船・本栖湖遊覧船・芦ノ湖遊覧船 (1枚につき1名乗船) ●フジヤマミュージアム (1枚につき1名入館) ●ふじやま温泉 (2枚につき大人1名入館、1枚につき小人1名入館) ●さがみ湖温泉うるり (2枚につき大人1名入館、1枚につき小人1名入館) ●あだたら山 奥岳の湯 (1枚につき1名入館) ●十国峠パノラマケーブルカー (1枚につき1名乗車(往復))	●遊園地一日フリーパス (富士急ハイランド・ゆうえんちぐりんば・さがみ湖MORI MORI) ●スキー場一日券 (スノーパーク イエティ・あだたら高原スキー場)	高速バス乗車券 ※高速バスご利用について 高速バス乗車券は、「富士五湖～新宿線」「富士山五合目～新宿線」「甲府～新宿線」「富士五湖～東京線」「河口湖～渋谷線」「富士・富士宮～東京線」「沼津～新宿・渋谷線」の富士急便に限りご利用いただけます。	電車・バス全線優待パス (持参人1名)
10,000 株以上	40 枚	6 枚	4 枚	1 枚
5,000 株以上	40 枚	5 枚	4 枚	
2,500 株以上	25 枚	4 枚	2 枚	
1,500 株以上	15 枚	3 枚	1 枚	
1,500 株以上	10 枚	2 枚		
500 株以上	10 枚	1 枚		
100 株以上	5 枚			



長期保有特別優待券*



「ハイランドリゾート ホテル&スパ」
「ホテルマウント富士」の指定する
ツインルーム室料100%または
ホテル内レストラン利用料30%
割引券
(3年に1度の発行となります。)

3枚

2枚

2枚

施設割引券☆

ご優待の内容		枚数
ハイランドリゾート ホテル&スパ	1枚につき1室室料20% または自社企画宿泊商品 10%割引（キャラクター ルームは除く）	3枚
ホテルマウント富士		
富士山ステーション ホテル 富士宮富士急ホテル キャビン&ラウンジ ハイランドステーション イン FUJIYAMA INN CONIFER	1枚につき1室室料20% 割引	2枚
富士急グループホテル 飲食割引券	レストラン・バー10%割引 （1枚につき4名まで） 「ホテルマウント富士」では、 食事付入浴10%割引 （1枚につき4名まで）と して利用可	5枚
富士ゴルフコース	特別プラン【キャディ・ 昼食付】 1名様につき1,000円割引 （4名まで）	1枚
大富士ゴルフクラブ	平日：メンバー料金 土休日・特定日：10,000円 （1枚につき4名まで）	
ふじやま温泉	入館料 平日大人1,000円 小人500円 土休日 大人1,300円 小人650円 （1枚につき4名まで）	
さがみ湖温泉 うるり	所定料金より150円割引 （1枚につき4名まで）	
あだたら山 奥岳の湯	入館料 平日、土休日とも 100円引 （1枚につき4名まで）	
忍野 しのびの里	食事処「雪月風花」5%割引 （1枚につき4名まで）	2枚
PICA山中湖	素泊まりプラン1泊1棟 10%割引、 レストラン「FUJIYAMA KITCHEN」5%割引	
PICA富士吉田・PICA富士 西湖・PICA富士ぐりん ば・PICAさがみ湖・PICA 表富士・PICA Fujiyama・ PICAハヶ岳明野・PICA初 島・PICA秩父	1枚につき素泊まりプラン 1泊1棟10%割引	
富士ミネラルウォーター	1枚につき20%割引 （1ケース以上）	1枚
富士急トラベル	パッケージ旅行代金の3% 割引（1枚につき4名まで）	2枚
富士急オートサービス	車検・点検・整備 工賃 10%割引	1枚

● 株主優待券の発行時期及び有効期間

当社の株主優待は毎年3月31日及び9月30日現在で100株以上
ご所有の、株主様のご所有株式数に応じてそれぞれ6月下旬、
12月下旬に発行いたします。

	発行時期	有効期間
3月31日現在の株主様	6月下旬	翌年6月30日まで
9月30日現在の株主様	12月下旬	翌年12月31日まで

注) 2025年より、すべての株主優待券の有効期間を「1年間」へ変更しております。

● 長期保有特別優待券について*

■ 長期保有特別優待券は過去3年間（7回）すべての基準日（3
月31日、9月30日）の株主名簿において、対象となる株式数
以上（※）を継続して保有し、かつ株主番号が継続して同一
である株主様に対し、過去3年間の基準日に保有していた最
小株式数に応じて3年経過ごとに発行しております。**（3年に1
度の発行となります。）**

相続による名義人の変更があった場合、また、継続保有され
ている株主様であっても基準日現在において、何らかの理由
で同一の株主名簿上に対象株式数を保有していない場合は対
象となりませんのでご注意ください。

■ 長期保有特別優待券は年末年始、ゴールデンウィーク、夏期
ハイシーズン等ホテルが定めた日のご宿泊にはご利用いた
だけません。またレストラン利用料の割引額の上限は3万円と
いたします。
その他、ご利用方法については優待券の裏面をご覧ください。



富士急行株式会社

本社：山梨県富士吉田市新西原五丁目2番1号
東京本社：東京都渋谷区初台一丁目55番7号

<https://www.fujikyu.co.jp/>



この冊子は環境保全のため、植物油インキとFSC® 認証紙を使用しています。
見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。